

会社概要・編集方針	2012年度ハイライト	トップコミットメント	金融機関として 取り組むべき優先課題	優先課題: ケーススタディ	SMFGにおけるCSR
盤石な経営体制	CS・品質向上への取り組み	環境活動	社会貢献活動	人の尊重と人材活用	各種データ集

2012年度 ハイライト

SMFGスナップショット

● 震災復興

551名

ボランティア参加人数



当社グループでは、東日本大震災発災以降、地元のニーズに基づく被災地支援ボランティア活動を継続しています。2012年度からは、役職員の家族も参加するプログラムを新たに始めました。

※ 発災以降2013年9月までのボランティア参加累計人数: 約1,430名

→ P.15 優先課題: ケーススタディ 震災復興

● 環境

177,272t-CO₂

CO₂排出量



当社グループでは、グループ環境方針に基づき、環境活動の柱の一つとして、「環境負荷軽減」に努めています。環境配慮型モデル店舗の設置や、電算センターへの太陽光パネルの設置等、自助努力による環境負荷の軽減に加え、排出権の活用など、積極的に取り組んでいます。

→ P.53 各種データ集 SMFGの環境データ

● 少子・高齢化

1,594名

育児休業取得者数



当社グループでは、仕事と家庭生活の両立支援を図るため、「従業員サポートプログラム」の整備を進めています。そのうち、従業員の育児をサポートする育児休業制度は、グループ全体で2年前の約1.5倍に当たる1,594名が活用しています(2013年3月末)。

→ P.36 人の尊重と人材活用 多様性を強みとする企業風土の醸成

→ P.69 各種データ集 主な両立支援制度

● グローバル

約17万食

TABLE FOR TWOを通じた開発途上国の学校給食支援



当社グループは、職場内食堂でのヘルシーメニュー購入、寄付型自動販売機でのヘルシー飲料購入数に応じて寄付を行い、これにより開発途上国の子どもたちへの学校給食が提供されるプログラムに参加しています。

※ 「TABLE FOR TWO」は直訳すると「二人の食卓」。飢餓や栄養不良に苦しむ開発途上国の子どもたちと生活習慣病に悩む先進国の私たち双方が同時に健康になることを目指す取り組みです。

→ P.32 社会貢献活動 TABLE FOR TWOへの参加